






審査結果報告書

2021年 / 1 月 26日

主 査 氏 名 佐野 肇 

副 査 氏 名 堀口 利之 

副 査 氏 名 高橋 香世子 

副 査 氏 名 村上 健  

1. 申請者氏名 : DM17034 吉澤健太郎

2. 論文テーマ :

Research related to social anxiety in adult stutterers with neurodevelopmental disorders

(神経発達障害を併存する成人吃音者の社交不安に関する研究)

3. 論文審査結果 : 本研究は、医療機関を受診した社会人の吃音患者、302 例について、社交不安症 (SAD) と神経発達障害 (自閉スペクトラム症 (ASD)、注意欠陥/多動性症 (AD/HD)、限局性学習障害 (SLD)) の関連について、後方視的観察研究を実施したものである。社交不安症の評価にはリーボビッツ社交不安尺度 (LSAS-J) を使用した。全対象のうち社交不安有り (LSAS-J60 点以上) の割合は 114 例 (38%) で過去の報告と同様であった。神経発達障害の併存は 302 例中 22 例 (7.3%) で過去の報告よりも低かった。ASD、AD/HD および SLD の併存の有無と LSAS-J の関連について、多重ロジスティック回帰分析、重回帰分析で検討した結果、ASD または AD/HD の併存が有る場合には社交不安の程度が高いことが確認された。これらの結果より吃音患者の治療にあたっては、SAD の評価を行い、さらに ASD および AD/HD の併存を判断し、特に両疾患が併存している場合には全人的に理解し適切な臨床を行う必要があると考察した。

研究は適切に実施されており、論文の記載も適切である。発表および質疑応答も的確に行われた。審議の結果、申請者は博士の学位に相応しい能力を有するものと判断された。